

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ISO14001を取得している。 環境方針の重点目標に廃棄物の抑制や化学物質の適切な管理、工場排水の水質管理について指標を設け取組みを行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		日常点検のデータを基にエネルギー使用量を算出し経営層・管理者への月報を作成、削減計画においては年頭に計画書を作成し取組みを実施している。 ・老朽化設備の更新 ・照明のLED化 ・生産設備の集約化 など							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		国・県の温暖化防止対策に基づき、計画・排出量の報告を行っている。高効率機器への更新や照明LED化、ボイラーの空気比改善などの取組みをCO2換算し、排出量データを毎月掲示周知している。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		自社の工場排水はすべて下水放流とし近隣河川への環境影響を防止している。 また地域の湖水の清掃活動への参加も積極的に実施している。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ごみを分別し有価物と廃棄物に仕分け資源の再利用を促している。 再生紙の利用を推進し、ペーパーレス化裏紙の利用などを促進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		くまもと地下水財団会員として活動し、令和元年度シルバー顕彰を受賞した際の取組みである、取水量削減(水リサイクル)、水質の安定化、社内教育やインターンシップ等講義、清掃ボランティアなどを継続実施している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		消耗品や事務用品、OA機器、家電製品等の購入に際しグリーン調達品を優先購入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		エネルギー効率の見直しにおいては、老朽化設備更新を計画し高効率機器を導入、工場稼働・非稼働日のエネルギー使用に関し手順書を作成し(空調・照明・機械設備)省エネを行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			社用車を全社ハイブリッド車へ切替えている。 自家用車通勤から自転車通勤を推奨している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2	

